

★Cha Cha Cha★

研究通信 No. 16
令和5年8月25日(金)
文責：古谷

ノートから見えてくる授業観の転換

4月の研修で、廣田先生から、5つのことを共通で行うようにとお願いがありました。授業の中で、「日付」「ページ」「めあて」「まとめ」「ふりかえり」を書くことです。ノートを拝見すると、全学級その様子が見られませんでした。(正直な感想ですいません。)振り返ってみると、私も毎回はできておらず、自分も含めて再度意識が必要だと反省しました。毎日・毎時間すべてここまで書かせることは難しいかもしれません。しかし、私たちの研究は、「学びをたのしむ姿」「自らを高め続ける姿」の具現化です。授業でその様子を見取ることから始まります。その一歩が、「ノート」です。いくらICTが普及しても、自分でまとめる、自分で振り返ることができないようでは、自らは高め続けられないはず。今一度ノート指導に拘りましょう。そうすることで、先生方自身の「授業観」も変化するはず。それだけ、授業を変える時期なんだという意識をもって、お互いに声をかけあっていきましょう!「全員でしっかり声出していこ〜〜〜!!!」

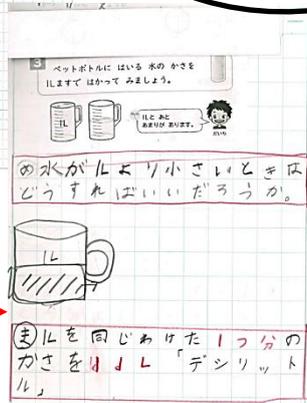


6年生のノート

振り返りまで書いています。しかし、よく読むと、振り返りの質はどうなのか、まとめ→振り返りが本当にいいのか再度吟味していくのも興味深いです。

実際に読んでみると...

2年生のノート



2年生のノート

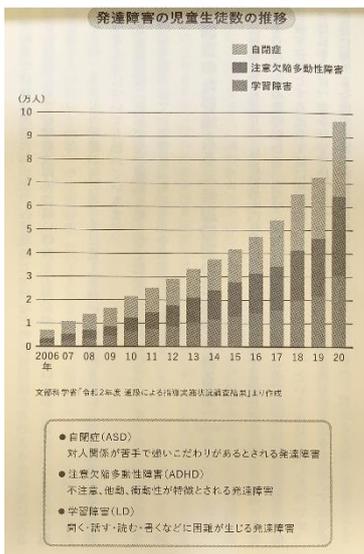
一方的に教え込む授業はバイバイしてね! しっかり、子どもの様子を見てはいよ!!



この夏の本との出会い



「発達障害」と間違われる子どもたち
青春新書 成田奈緒子さん



私が本屋で一度は素通りしましたが、やっぱり気になって購入したものです。近年、「発達障害」と呼ばれる子どもは、2006年~2019年で10倍に増えているそうです。(左のグラフ)本では、様々な時代背景から考察されていました。勉強になったことは、「発達障害」は、脳の成長バランスに影響している。中でも、睡眠の質の向上の有効性が書いてありました。睡眠不足から心身のバランスが崩れる。「早く寝るではなく、早く起きる」の習慣化などここには記載しきれない程の内容がありました。保護者へのアプローチの参考にもなるなど感じ、大変勉強になりました。先生方は、この夏どんな本との出会いがありましたか??